

## ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

### ◆ 首都圏と関西のビジネス環境の違いから考える“領域ごとの違い” ◆

【登壇者】 (敬称略：五十音順)

<講演者>

小林 誠 (デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、  
金沢工業大学大学院 客員教授)

武富 祐介 (株式会社 挑戦場 代表取締役)

樋口 雅一 (京都大学 特定助教 /株式会社 Atomis 創業者)

細川 洋一 (近畿経済産業局 総務企画部 中小企業政策調査課長)

<進行・モデレーター>

小野 曜 (本分科会関西幹事、弁理士)

香月 亜美 (本分科会関西幹事、京都大学産学連携本部)

#### 【内 容】

現在、ビジネスは当然に国境を越えて展開される。一方で、文化・風土・ビジネスのやり方や産業構造などには、国や地域、あるいはビジネス領域ごとの違いがある。

ビジネスと知的資産を語る時、すなわち、知的資産の戦略的確保や活用、知財戦略を構築し遂行するに際して、これまで我々はこうした局所的な相違に注意を払っていただろうか。

本セッションでは、5年ぶりの本学会開催地となった関西について、そのビジネス環境の首都圏との相違を踏まえ、どのような知的資産の戦略的な確保・活用が関西のビジネス環境に適応的であり、関西のビジネス環境において知財専門職にどのような役割、能力が求められるかについて、検討する。

セッションでは、近畿経済産業局の細川氏から関西のビジネス環境について首都圏との対比でご説明いただく。続いて武富氏から、関西のものづくりベンチャーと市場をつなぐ場“Area Venture”Zの取り組みをご紹介いただき、金融マンとしてベンチャー企業の成長を支援してきた立場から、関西のビジネス環境において知財専門職に求められる役割、能力についてお話しいただく。また樋口氏からは大学発ものづくりベンチャー創業者として、自身の起業経緯や関西の起業環境、知財専門職への期待などをお話しいただく。さらに小林氏からは、特許庁事業「知財アクセラレーションプログラム」の概要と、このプログラムの実施を通して見えてきた”領域ごとのビジネス・起業環境の違いと、知財専門職はこうした環境の違いをどのように扱うべきかについてお話しいただく。

議論を深めるため、参加者参加型のミニパネルも予定している。

以上

## ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

### ◆ 首都圏と関西のビジネス環境の違いから考える“領域ごとの違い” ◆

#### 【略歴】

#### 小林 誠 (こばやし まこと)

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 知的財産グループ シニアヴァイスプレジデント、金沢工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員教授。早稲田大学大学院修士課程修了、東京大学大学院修士課程短期特別修了、東京大学大学院博士後期課程単位取得後退学。

クロスボーダーM&A・ライセンス取引・知的財産取引・JV 組成等に伴うファイナンシャルアドバイザー業務、知的財産価値評価を含む各種デューデリジェンス、技術開発、特許戦略構築などの戦略コンサルティングを手掛ける。

#### 武富 祐介 (たけとみ ゆうすけ)

広島大学総合科学部卒業。中小企業診断士。

日本政策金融公庫にて約13年の勤務、事業再生やニュービジネス審査、本部勤務時における部署の新設立ち上げ等を経験。担当支援先のIPOやM&A等の実績あり。

2017年国内スタートアップのプロダクトにかかるセールス&プロモーション支援やクラウドファンディングのプロデュース等を手がける株式会社挑戦場を設立。

2018年より公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター 大阪産業創造館の経営サポーターを務める。

#### 細川 洋一 (ほそかわ よういち)

近畿経済産業局 総務企画部 中小企業政策調査課長。

平成29年4月に発足した中小企業政策調査課では、中堅・中小企業の実態把握機能の強化の一環として、関西の中堅・中小企業へのヒアリングを基に実態調査を行うとともに、有識者や関係機関等との意見交換を行って取りまとめた『関西企業フロントライン』（平成30年10月1日時点で9回）を公表するなどしている。

#### 樋口 雅一 (ひぐち まさかず)

京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点(iCeMS) iCeMS解析センターマテリアルズ部門責任者、特定助教、株式会社Atomis 創業者。

京都大学が20年ほどかけて研究してきた金属イオンと有機化合物からなる新しい多孔材料「多孔性配位高分子 PCP/MOF」の基礎研究を行いながら、その実用化を目指す株式会社Atomisを2015年に創業し、社会貢献として実践的産学連携・イノベーション創出を目指して活動中。2017年からiCeMS解析センターマテリアルズ部門責任者を併任し、大学研究環境の社会還元の仕組み作りや企業での講演にも注力している。

教育に関しては大学内だけでなく、小・中・高等学校や東映太秦映画村でのクイズ形式の講演などを通して、サイエンストピックや起業関連等の情報発信に積極的に取り組んでいる。